

おおだて 市議会だより

119号

平成28年2月1日



消防出初式

平成28年1月5日

平成27年 **12月定例会** (会期:11月24日～12月10日)

- 主な議案等の審議結果 (12月定例会) P.2
- 一般質問 P.4
- 常任委員会・議会運営委員会行政調査報告 ... P.8
- 議会報告会の結果報告 P.9
- 私もひ・と・こ・と P.10

主な議案等の審議結果

12月定例会（会期：11月24日～12月10日）

内訳：専決処分報告1件、条例案7件、単行案22件、予算案8件、請願7件、陳情2件、議員の派遣1件、継続審査中の請願2件・陳情2件

計52件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
○ 市税条例等の一部を改正する条例案 地方税法等の一部改正により、市税の徴収に関する猶予制度が見直されたことなどから、市税条例等の該当する部分を改正するものです。	原案可決
○ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案 小規模保育事業所（A型・B型）、事業所内保育事業所において、一定の基準内で「准看護師」を保育士とみなすことができるようにするものです。	起立採決により 原案可決 (賛成 25 反対 2)
○ 歴史的風致維持向上協議会条例案 大館市歴史的風致維持向上計画の作成などに関する協議と計画実施における連絡調整を行う協議会を設置するものです。協議会の委員の定数は17人以内で、任期は2年です。	原案可決
○ 放課後児童クラブに関する条例の一部を改正する条例案 城南小学校と矢立小学校の余裕教室を利用し、来年度から新たに定員40人の放課後児童クラブを開設するものです。 ・ 城南小学校内 ⇒ 城南第二児童仲良しクラブ ・ 矢立小学校内 ⇒ 矢立キラキラクラブ	原案可決
○ 空き家等対策の推進に関する条例案 空き家所有者の適正管理義務や市の対策計画策定等について定め、空き家等の対策を推進するために制定するものです。	原案可決
○ 指定管理者の指定について（議案20件） 次の施設の指定管理者を指定しようとするものです。 老人福祉センター、ふれあいセンターやまびこ、児童館7館（松峰・山館・天下町・比内・西館・たしろ・はやぐち）、田代いきいきふれあいセンター、老人いこいの家、こぶしの家、八木橋地域福祉センター、高齢者生きがいセンター、労働福祉会館、二井田市民集会所（ハチ公荘）、湯夢湯夢の里、たしろ温泉ユップラ、雨池牧場、大館市民文化会館、大館樹海ドームパーク、箆谷簡易給水施設、二ツ屋簡易給水施設、石刈簡易給水施設、小雪沢簡易給水施設、黒沢簡易給水施設	原案可決

主 な 案 件 ・ 内 容		結 果
○ 平成27年度大館市一般会計補正予算（第6号）案		原案可決
・ ふるさと応援寄附推進事業費の追加	5,544万8,000円	
・ 高齢者等雪下ろし支援事業費補助金	843万円	
・ 学校給食利用拡大モデル事業費	102万6,000円	
・ 耕作放棄地発生防止作付推進事業費補助金の追加	4,048万1,000円	
・ 商業活性化総合支援事業費補助金の追加	856万円	
・ 住宅リフォーム緊急支援事業費補助金の追加	502万2,000円	
・ 公共土木施設災害復旧費	5,148万5,000円	
・ 人件費	△698万9,000円	
以上を含め、補正総額 1億6,864万円		
○ 平成27年度大館市一般会計補正予算（第7号）案		原案可決
・ 地域経済循環創造事業交付金	2,500万円	

請願と陳情

12月定例会に提出されたもの

請願	○ 大葛温泉2号井の地元への無償譲渡について	採 択
	○ TPP交渉の合意の撤回を求め、協定の調印・批准を行わないことについて	継続審査
	○ 労働基準法改定案の撤回を求めることについて	
	○ TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求めることについて	
	○ 「戦争法案」の強行採決に抗議し、法の廃止を求めることについて	
	○ 原発の再稼働中止を求めることについて	
	○ 沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めることについて	
陳情	○ 医療・介護及び年金制度などの社会保障の充実を求めることについて	継続審査
	○ 介護従事者の勤務環境改善と処遇改善の実現を求めることについて	

継続審査となっていたもの

請願	○ 黒沢集落の崩落した橋の復旧について	趣旨採択
陳情	○ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について	継続審査
陳情	○ 歯科衛生士を市の正職員として雇用することについて	
陳情	○ 所得税法第56条の廃止を求めることについて	起立採決により 不採択 （不採択に賛成25 反対2）

ささじま
あいこ
笹島 愛子 議員(日本共産)



空き家対策には税の減免を
盛り込むことが急務

〔問〕 ここ数年、全国で空き家対策が議論されてきたが、本市でも空き家、特に老朽化し危険と思われる家屋が多く見受けられる。所有者の多くが悩んでいるのは、解体費用と解体後の固定資産税が3〜6倍にはね上がる税負担。国が税制を改正し何らかの優遇措置を実施するまでの間、市民に危険が及ぶような家屋に対しては税の減免を実施するべき。

〔市長〕 住宅が建っている土地の固定資産税を軽減する「住宅用地の特例措置」が講じられている。その空き家を解体した場合でも、その土地を住宅特例から除外しないようにするということは、国の税制のあり方から論じられるべきものと考えている。

就学援助制度は新入学の準備に間に合わない。「入学準備資金貸付制度」の新設を

〔問〕 この制度は入学してから申請し、認定後、支給になるのは6月ごろ。入学準備のための用品を買うのに間に合わない。入学準備資金として貸し付ける制度の新設を。

〔市長〕 経済的な援助が必要な御家庭については、市、その他の関係機関で情報を共有しながら世帯状況の把握に努め、諸制度に関する情報提供などを行う。

中学までの医療費無料化に
若い人たちは期待している

〔問〕 さきの9月定例会で質問した医療費無料化について、市の総合戦略に盛り込む旨の市長答弁であったが、保護者の方からは「本当か」の声が。ぜひ実現を。

〔市長〕 県と連携し、現在、小学生までの助成対象を中学生までに拡大することとしている。また、完全無料化についても引き続き検討する。

おだなぎまさゆき
小棚木政之 議員(平成会)



いかにして市民の
内発的動機を高めるか

〔問〕 交流人口をふやすための基盤は市民であり、市民生活の活気や経済活動の充実なくしてはあり得ないが、いかにして内発的動機を高め、交流人口の確実な増加に結びつけるのか。

〔市長〕 本市には宝物が多くあることを知り、誇りを持っていただくことが内発的動機づけの高まりになる。発信だけでなく、外から見た大館を感じていただくよう取り組んでいる。物産展などを通じて、出店者が本市のよさを再認識し自信につながっている。

駅前開発は百年の大計で

〔問〕 駅前に観光物産施設等が計画されているが、現状分析・戦略・創造なき施設整備だけでは禍根を残す。駅舎、旧御成町踏切付近の交差点問題も含めエリア一帯から地域全体への

流れを大局的に捉えて計画すべき。

〔市長〕 同感であり、大館駅は十和田八幡平国立公園への重要なハブ。県北の玄関として、交通アクセスの課題解消を含めオール大館で取り組む。

旧小坂鉄道の保存方針策定を
急ぎ、市民生活向上への配慮を

〔問〕 廃線後保守が行われておらず破却は時間の問題。遺産としての価値を残しつつも、市民生活に不便を与えている箇所の改修も含め、価値を損なうような工事がされぬよう保存・活用の方針の策定を急ぐべき。

〔市長〕 旧小坂鉄道は鉄道遺産として希少価値が高い。住民要望も含め、景観を残した上での施設維持・保存活用を基本とし、小坂町やNPOなどとも連携して最大限保存活用していく。

扇田病院に

電子カルテ導入を

〔問〕 地域医療を面で支える医療体制の構築と医療番号制度の導入を見据えて今から準備を。
〔市長〕 必要性は認識しているが、老朽化した建物と医療機器の更新を優先している。病院の方向性も含め検討していく。

さとら
よしただ
佐藤 芳忠 議員(無所属)



知的障害者の自立支援と
短期入所施設の整備について

〔問〕 障害者の自立と社会参加のためには相談と生活・職業訓練が一体となった支援施設が必要です。また、短期入所施設が緊急時に利用できない状況にあり、改善と整備が必要です。

〔市長〕 一体的多機能型事業所整備について積極的に検討します。共同生活の援助や相談支援、生活介護や生活訓練が一体となった施設が開設される予定です。また、短期入所については、各施設の空き状況を集約し、利用を希望する家族に情報提供できるようにします。

子供たちの安全のために⑥

〔問〕 ペレットストーブとボイラーの焼却灰に含まれている放射性セシウムは、原発事故以前、1000ベクレル以上は放射性廃棄物とされていました。私は26年から政務活動費で小・中学校等の放射性セシウム濃度を検

査しています。27年は第一中55・4、東中69・9、花岡中40・3、釈迦内児童センター54・9、有浦保育園52・2、東館小73・8、西館小67・9、成章中55、扇田小62・9ベクレルという結果でした。当市の子供たちは身近に放射性物質がある異常な環境で過ごしています。市は全ての小・中学校等の焼却灰の濃度を検査すべきです。また、当市の焼却灰の安全基準100ベクレル以下を今後遵守するのはいかがでしょうか。

【市長】 今後は抽出調査箇所をふやす方向で検討します。市の安全基準の遵守については、環境に配慮するため一般食品と同じレベルである100ベクレルを目指したいと考えております。

松下村塾の図書館への移設を見直し、移設費の1,500万円は小・中学校の雨漏りや遊具の修繕など教育環境の整備に使用すべき

【問】 松下村塾を図書館の駐車場用地に移設する必要性はないものです。移設費は小・中学校の雨漏りや遊具の修繕、大学入学金の補助等に使用すべきです。

【教育長】 各学校の老朽化が進み、雨漏りやコンクリートが劣化しているところもあります。向こう3年間をめどに対処します。松下村塾は現在地に残すことも可能ですが、活用の観点から移設という選択肢が生まれました。移設により駐車台数は減ります。

田村 儀光 議員 (平成会)

総合計画・総合戦略について

【問】 市長が実行したい施策に特化すべきと考えるが。

【市長】 市長として、受け継ぐ匠と歴史、誇りと宝を力に変えていく未来創造都市大館という方向性を示した。それを受けてさまざまなレベルでの話し合いのもと、総合計画・総合戦略を打ち出した。それぞれの部署で、私が示した方向性と現場とのギャップを必ず感じたはずであり、それにどのように気づき、部署の垣根を越え、市長の思いを実現するためにはどのようにすればよいのかというやりとりを、私はずっと見てきている。それぞれの課で交流人口拡大について考えていくというメインドは大部分定着してきており、既に具体的な提案をしてきた部署もある。私は、そのような気づきを総合戦略や総合計画において全面的に出していきたいと考えている。



統合医療について

【問】 心身ともに健康なまちづくりを進める上で、統合医療を進めるべきだと思う。

【市長】 統合医療は近代西洋医学と、伝統医学・音楽療法・磁気療法などの相補・代替療法とを組み合わせて行う療法であり、多種多様なものがある。国の動向を踏まえ、検討してまいりたい。

ふるさとキャンパス
教育について

【問】 子供たちが将来も大館で暮らしたいと思える教育のさらなる推進を。

【教育長】 ふるさと大館を「いつの日か帰るふるさと」ではなく、「志を抱いてみずから支えるふるさと」に変えるべく、さらなる拡充・進化を図ってまいりたい。

樹海ドームの
活用について

【問】 さらに有効活用すべき。

【市長】 可能性を最大限生かすためにも、コンサート運営会社への働きかけや、ドームの規模ならではの新規イベントの誘致・創造に努め、地域の活性化につなげたいと考えている。

明石 宏康 議員 (いぶき)

海外からの観光客
受け入れについて

【問】 縁あって上海市を訪問し日系在中企業の方々と親しく意見交換ができた。インバウンド(海外から来日する旅行者)増加は今後も続くが、秋田県や当市はその動線から離れており、取り組みも大きく出回っている。「爆買い」と呼ばれる富裕層の旅行先を決める業者・企業向けの商談会に東北から出展しているのは福島県のみであり、これでは国内他地域との競合に勝てない。

【市長】 出回ることに関しては議員指摘のとおりだ。そのおくれを取り戻すべく、県知事らとタイや台湾を訪問しており、観光や経済面での交流が大きく動き出す手応えを感じている。当市が担うべき役割について再認識できた。



【問】 何もないと嘆くより、

当市一円を見渡せば商材はあふれている。フルアテンド型の溪流釣り体験やスノーモービルでの純白の山々を走るツアー、京都などで流行している和装ロケーション撮影に秋田犬を追加する大館オリジナルなど、アイデアは数多くあるだろう。免税対応をすれば既存店舗での観光客獲得も十分可能だ。日本産の食品に対する信頼は大きく、コシヒカリが2キログラム4,000円で販売されているくらいだ。当市にとって未開のマーケットが海の向こうに広がっている。他県の上海常駐事務所より「机はあいている、勉強しにこないか。橋渡し役になる」との申し出もある。市議の私の裁量で判断できる話ではなく、市長判断になる。私にできなくて市長にできることは山ほどある。検討してほしい。今回訪中していても興味のある市民や事業主は必ずいる。こういった思い出を客に与えられるのかをしつかりと思い描き、入念に準備ができる仕組みづくりを急ぐべきだ。インバウンド受け入れの第一歩である。

【市長】 観光は市の総合戦略であり、交流人口の拡大を真に市の活性化につなげるため、市民が参画できる仕組みづくりにも取り組む。

佐藤 眞平 議員(新生党)



田代岳の周辺整備について

〈問〉 9合目の木道修復の働きかけを県へさらにすべき。

〈市長〉 全長1,456メートルのうち、今年度は40メートル実施しており、湿原の保護と登山の安全のため今後も危険箇所を整備を要望してまいりたい。

〈問〉 岩瀬沢から早口沢の周回道路の整地や拡幅の考えは。

〈市長〉 毎年のように豪雨等による土砂崩れなどで通行不能となるが、現在、復旧工事が進められ来年度に通行どめが解除される。整地・拡幅等は、国・県と相談し進めてまいりたい。

岩瀬橋から岩瀬町内間の道路改良について

〈問〉 歩道設置等が必要だと考える。

〈市長〉 歩道設置を含め根本的改修を考えており、早期に事業計画に組み入れる。事業実

施までは路肩の白線の引き直し等を行い、歩行者の安全確保を図ってまいりたい。

通学路の除雪対策について

〈問〉 きめ細かい対応を。

〈市長〉 歩道や通学路を優先して、安全な歩行者空間を確保する。

納税貯蓄組合について

〈問〉 これからのあり方について伺う。

〈市長〉 県連合会では全国連合会からの脱退を含め今後の組織運営について検討しており、その状況を見た上で検討してまいりたい。

大館市民文化会館について

〈問〉 建屋の外壁及び歩道タイルの破損修復を。

〈市長〉 御指摘のとおり、外部・敷地にかかわる改修として第2期改修計画を策定したい。

〈問〉 エレベーターの設置を。

予算編成について

〈問〉 地域の活力を支える補助金について市長の考えは。

〈市長〉 市民みずからが取り組む地域活性化や地域課題の解決に向けた活動には、できる限りの支援をしてまいりたい。

佐藤 健一 議員(いばき)



TPPについて

〈問〉 TPPに対する市長の考え方と今後の大館市農政の進め方を伺う。

〈市長〉 TPPの大筋合意は「国を開くこと」と認識している。農業においては守るべきものは守りながら、攻めていくことを忘れてはならないと考えている。政府が11月25日にTPPの国内対策としてまとめた政策大綱では、米はTPPで輸入がふえた分だけ政府が備蓄米の買い上げをふやして米価下落対策を行うことや、関税が下がる牛肉や豚肉では畜産農家の損失を補填する制度を拡充することなどが示されている。市では、国や県の影響試算等の分析や対策の検討結果の情報収集を行い、本市農業に与える影響を見きわめ、農家の不安を払拭していく。

〈問〉 飼料用米の作付を今後もふやすのか。

〈市長〉

市では、本年産の飼料用米等の作付面積が昨年の3・4倍の637ヘクタールと計画を大幅に上回った。これにより、主食用米の作付面積は生産目標数量面積のみならず自主的取組参考値を大きく下回り、主食用米の需給改善に寄与し稲作農家の安定的な所得の確保につながった。飼料用米はTPPの大筋合意を受け、供給先である畜産業の将来不安が広がっているが、国レベルでは今後も拡大の方針である。市でも当面は増加した本年度の作付面積の現状を維持していく。

地方創生について

〈問〉 人口減対策を早急に進めるべきと思うが、少子化対策について市長の考え方を伺う。

〈市長〉 市では、あきた結婚支援センター入会登録料助成・ブライダル資金利子補給助成事業・結婚祝金事業を実施しているが、年齢要件緩和等の利用促進に努める。保育料についても助成制度を拡大し、新たに第三子以降の子供が生まれた場合、一定の所得制限のもとで、第二子及び第三子以降の子供の保育料を全額助成の予定である。医療費助成の対象も中学生までに拡大の予定である。

斉藤 則幸 議員(公明党)



地方創生を成功させるために

〈問〉 リーサス(地域経済分析システム)を有効に活用してはどうか。

〈市長〉 県外からの休日滞在人口数のデータが示すように、北東北からの滞在が多いのはもちろんだが、3位に神奈川県が入っている。仕掛けをつくれば首都圏から人を呼び込む力が本市にある証拠だ。今後もリーサスを活用した分析をさらに進め、首都圏からの誘客を推進していきたい。

今年度の除排雪計画について

〈問〉 除排雪計画と特殊車両の管理について市長の考えは。

〈市長〉 除雪委託については、昨年度は道路の条件や機械の能力等により、地区により除雪

後の状況に差が生じていた。今年度は道路の幅や機械の能力等、条件に適した機械の再配置などを行い除雪作業にあたる。市の保有する除雪機械は、登録から20年ほど経過した老朽車両が6割を占めている。計画的に更新を進めたい。

大学構内に

期日前投票所設置を

〔問〕 18歳選挙権が実施される今、大学構内に期日前投票所を設置できないか。

〔市長〕 本市にある大学への期日前投票所の設置については設置場所の提供等、大学側の協力を得る必要がある。他の課題も含めて検討するよう選挙管理委員会に伝えたい。

魅力ある図書館

について

〔問〕 読書通帳の導入について教育長の考えは。

〔教育長〕 子供たちの読書意欲を促進し、図書館利用を活性化させると言われている。総合的に導入可否を判断したい。

〔問〕 大活字本の導入については。

〔教育長〕 相互貸借制度により他館からの借り入れもできるので、蔵書の一覧を整備したい。

いしがき ひろたか
石垣 博隆 議員 (平成会)

今後の農業振興のために

〔問〕 農地中間管理機構の利用状況は。また今後の機構の役割・支援制度の周知方法は。

〔市長〕 本年度の農地貸し付け希望の申し込みは568件410ヘクタールとなり、借り受け希望は77件569ヘクタールとなっている。上川沿地区の基盤整備による法人への集積が約200ヘクタール、他の地域で約60〜100ヘクタールとなっている。現在マッチングが整っている面積は約240ヘクタールだが、残りは今冬から本格的なマッチング作業を行う予定である。本制度2年目を迎え貸し付け希望面積が前年の4倍にふえており、今後も農業委員会やJAと連携し、本制度の活用による担い手への農地集積を推進する。

〔問〕 人・農地プランについて、平成24年の制定以降の取り組みや経過は。

〔市長〕 人・農地プランは、集落や地域が抱える人と農地の問題を解消するため、地域の関係者が話し合い、今後の中心となる経営体はどこか、どうやって農地集積するかなど地域農業のあり方を明確にするものである。本市では、平成24年度に市内全16地区で作成されており、新規就農者や法人の設立など、新たな担い手の動きや農地集積を行う場合に、随時プランの見直しを行っている。また、JAでは、地域営農ビジョンの策定に着手している。どのような課題を共有し、地域全体で農業の将来を考え、人・農地プランと連動させながら進めている。

〔問〕 集落型法人や大規模農家への支援体制はどうか。

〔市長〕 25年度に沼館地区、26年は芦田子地区、本年度は上川沿地区で集落型法人が設立され、複合作目への転換を図り、地域の担い手、持続的な経営体として大きな役割を担っている。今後も県やJAと連携しながら支援を行い、大規模農家による法人化や新たな集落法人の育成を進め、生産物の付加価値を高めるブランド化、六次産業化への取り組みや法人経営をバックアップしていきたいと考えている。

よしむら ただし
吉原 正 議員 (いぶき21)

歴史まちづくりの成功は市民の理解と支持が大事

〔問〕 歴史まちづくりの重点地域で想定される事業は何か。

〔市長〕 重点地域には国指定重要文化財が必要ことから、八幡神社や桜櫓館の保存補修事業を中心に桂城公園の整備、三ノ丸地区の環境整備を想定している。

〔問〕 比内の浅利氏史跡や田代岳の作占い等に関連した事業について問う。

〔市長〕 各地域で歴史まちづくり法をどう活用していくかは極めて重要である。観光・施設案内板の整備や歴史的逸話等の観光パンフレットによる紹介、周遊促進についても検討する。

歴史まちづくり事業で大館がどう変わるのか なぜ必要なのか

〔問〕 市民からはイメージが湧かないとの声が多い。わかり

やすい情報発信をすべきでは。

〔市長〕 歴史・伝統・文化を次代へ継承する取り組みが、人口減少を見据えた大館の羅針盤になると確信している。

市総合戦略に関連して

〔問〕 枝豆の230ヘクタール作付達成への道筋は。

〔市長〕 上川沿・長木地区で大規模園芸団地を整備し、作付を110ヘクタール拡大、販売額2億円を目指す。

〔問〕 高齢者が生き生きと暮らす大館版CIRCの機能、要件をどのように考えているのか。

〔市長〕 現役で活躍できる知識や経験を持った方々を含めて本市への移住を促進したい。大館の特性や強みを生かした構想を検討する組織を設置したい。

クライミングジムの誘致を

〔問〕 遊び場がないと嘆く若者のために、室内ボルダリング(岩登り)を。秋田市でクライミングジムを開設している大館出身の青年に働きかけを望む。

〔市長〕 若者に人気があり、今後ますます普及すると予想する。スポーツ団体との情報共有や市民の健康増進面の波及効果等の分析をしながら、普及等について調査・検討をしたい。



佐々木 公三
佐々木 公三 議員(いづみ)



新庁舎建設場所の懸念

〔問〕 新庁舎建設場所は裁判所の北側だが市道側から庁舎の下層階が見渡せないのでは。また、下層階が日陰にならないか。
〔市長〕 建設想定エリア内で、設計段階から庁舎1階の十分な日照等を考慮し、最良の設計プランを策定していきたい。

松下村塾移築計画は

無駄遣いにならないか

〔問〕 移築計画を疑問視する市民が数多くいるが。

〔教育長〕 中央図書館の一部リニューアルにあわせ同敷地内に移築し、一体的に活用することが最善と判断している。

観光振興策について

〔問〕 新幹線函館延伸への対応など、観光の整備計画は。

〔市長〕 交流人口の拡大、秋田犬を主軸とした情報発信等に取り組み、訪日外国人旅行者の受け入れについては周辺市町村との広域連携を図り、体制整備

を進めていきたい。

あきた未来づくりプロジェクトについて

〔問〕 交流拠点施設「ハチの駅(仮称)」の計画の進捗状況は。

〔市長〕 小坂鉄道跡地を中心とした交流拠点施設やJR大館駅周辺整備等のハード事業、犬都大館アピール事業等のソフト事業を取りまとめている。

遺跡の積極的な活用を

〔問〕 片貝家ノ下遺跡は極めて貴重である。活用の計画は。

〔教育長〕 極めてまれな大発見である。本市の将来に資するものとして取り組んでいきたい。

いじめ・自殺対応について

〔問〕 暴力・いじめ・自殺に対する本市の現況と対応は。

〔教育長〕 いじめ防止基本方針及び対応策により、万全を期している。

健康増進普及月間について

〔問〕 受動喫煙防止条例の制定を目指す自治体があるが。

〔市長〕 たばこの副流煙による健康への影響の周知と喫煙マナー啓発に努め、大館スタイルの禁煙・分煙を検討したい。

カラス被害対策について

〔問〕 従来どおりの対応でよいのか。

〔市長〕 住環境を悪化させずに確実な効果が見込めるものについては、導入を検討したい。

常任委員会・議会運営委員会行政調査報告

＊先進地の取り組みを視察してきました＊

進事業について

あらゆる分野に健康の視点を取り入れた「健康」都市づくりへの取り組みを学んだ。

・活用し、さらに磨きをかけるための取り組みを視察した。
滋賀県彦根市
・市街地再開発について
歴史・伝統を生かし、建物の形態と色彩を新しい時代にマッチした城下町づくりを学んだ。

教育産業常任委員会

○7月29日～31日
兵庫県たつの市
・農商工連携、農業六次産業化への取り組みについて
淡口醤油の原料に地元産の大豆・小麦等を使用し、品質向上や高付加価値の新商品を生み出した事例を視察した。

議会運営委員会

○10月6日～8日
広島県廿日市市
・議会運営について
・議員定数等調査特別委員会における調査・検討について
議員定数及び報酬の適正化などについて、調査・検討を行った取り組みを視察した。

厚生常任委員会

○7月27日～29日

静岡県浜松市
・子育て情報センターについて
指定管理制により運営している子育てに関するワンストップサービスについて学んだ。

建設水道常任委員会

○7月22日～24日

滋賀県長浜市
・歴史的風致維持向上計画の取り組みについて
地域固有の歴史・文化を保存



平成27年11月開催

議会報告会の結果報告

市民の皆様には多数のご参加をいただき、まことにありがとうございました。意見交換の場でいただいた貴重なご意見やご提言につきましては、今後の議会活動に生かしてまいりたいと考えております。

また、市に対するご要望等につきましては、議会から文書で市当局へ回答を求めていますので、とりまとめた上で次回この議会日よりご報告いたします。

なお、紙面の都合上、ご意見・ご要望等の全てを掲載することはできませんでしたので、何とぞご了承ください。



北地区コミュニティセンター

開催日時・参加人数

● 11月9日(月)	中央公民館	午後2時～午後3時59分	21人
● 11月10日(火)	比内公民館	午後2時～午後3時30分	14人
● 11月11日(水)	田代公民館	午後2時～午後4時	12人
● 11月12日(木)	北地区コミュニティセンター	午後2時～午後3時55分	15人

議会への意見・要望など

〔問〕 行政サイドからの議案を審議するだけではなく、議員発議のテーマを市長等に投げかけてほしい。

〔答〕 一般質問や委員会の総括質疑等を通じて、議員個人が政策的な提言を行っております。今後も、平成27年4月に施行しております大館市議会基本条例に基づき、政策形成及び立案能力の向上等に努めてまいります。

〔問〕 おおだて市議会だよりの一般質問のページ数をふやして、市民から関心を持たれるものにしてはどうか。

〔答〕 予算の都合もありますので、現実的に難しい部分がありますが、今後も紙面の創意工夫に努め、市民の皆様への情報発信に努めてまいります。

〔問〕 議員と市民を交えた勉強会を開催してはどうか。

〔答〕 大変有意義なご提案をいただきました。まことにありがとうございます。今後、議会内で検討してまいります。

市への意見・要望など

◆ 広報紙面に片仮名文字が多く、理解できないことが多い。高齢者にも優しい広報であってほしい。

◆ 市庁舎について、裁判所裏で市役所の威風が保てるのか。

◆ 地方創生に対して大館市の方向性が見えない。伝わってこない。

◆ ふるさと納税者を対象とした見学ツアーを考えてみては。

◆ 介護保険料は適正なのか。施設を建てるために値上げすると聞くが、どうなのか。

◆ 都市計画税は時代に逆行しているのか、廃止の方向で考えてほしい。

◆ TPPへの取り組みはどうなっているのか。特産物をもっと大切にしていくべきではないか。

◆ 農業用排水、泥上げなどについて、土地改良区と市が連携できないか。

◆ ご当地アイドルの今後の活動を市としてどのように考えているのか。

◆ 除雪について、町なか、中心街の歩道や横断歩道を通れるようにしてほしい。車道だけ除雪されればよいと思わないでほしい。

私もひとこと 第25回

このコーナーではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽にご投稿下さい。

英国紅茶研究家／ライター

さいとう ゆみ
斉藤 由美さん (大館市豊町)



— 歩いて気づく —

大館の魅力 —

2014年9月に、28年ぶりに故郷大館に住むことになり、東京から転居しました。大館の暮らしには車は必需品というアドバイスを耳にするも、運転に自信がなく、徒歩で買い物に出かける毎日です。

ある日のこと、長木川の土手を歩いていると、向こう側から歩いてくる小学生が大きな声で「こんにちわ！」と言いました。思わず背後を振り返りますが、私以外に誰もいません。思い切って、こんにちわと応える

と、小学生はニッコリ微笑んで通り過ぎていきました。

この出来事をSNSに投稿すると、地元の人から「大館では小・中学生の挨拶を奨励しているんだよ」とコメントがあり、なんてすばらしいことなのかと感動しました。それ以来、町で通り過ぎる小・中学生に、何度元気に声をかけられたことでしょう。出張の多かった会社員時代、日本中さまざまなところに出かけましたが、こんなふうに挨拶をされた経験はありません。車で買い物に出かけていたら、この元気な挨拶に出会うこともなかったでしょう。

私は仕事柄イギリスに出かけることが多く、ガーデンキング王国イギリスの可憐な花を見ることは、旅の楽しみのひとつでもあります。大館に来て、何となくイギリスの街角と似た空気を覚えました。チューリップ・芍薬・マーガレット・アジサイ・

タチアオイ・コスモス・孔雀草：彩り鮮やかな花たちが、道端でひっそりと季節の訪れを知らせてくれます。これもまた、車生活では出会えなかった風景だと感じます。

これらは、同じく徒歩で暮らしていた都会では経験することのなかった、大館ならではの出来事。挨拶を交わすと、空気が動き、笑顔が生まれます。道端に咲く花は、季節の豊かさに気づかせてくれます。大館の澄んだ空気を感ぜながら歩くと出会える素敵な風景。ときには車の鍵を持たずに、出かけてみてはいかがでしょう。歩く速度は、身近な幸せを感じる速度なのかもしれません。

お忙しい議員の方々も、車で移動されることが多いことと思います。「高齢者社会」「子育て支援」と言いますが、高齢者も子ども達もその多くは徒歩やバスが移動手段となっています。議会に携わる方々にも、高齢者や子ども達と同じ目線、同じ速度で、大館の町を歩いてみていただきたい。陥没した歩道、危険な段差などの問題点が見つかるだけではなく、車からは見えなかった新鮮な大館の町の魅力が見えてくることと思います。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 43-7108 (直通)

編集後記

昨年末は、穏やかで「雪は降るのだろうか」と思わせるような天候でした。さて、これからの天候はどうなるのか、気に病むのではないでしょう。か。「春に水が無い」と言う年があったように記憶しています。自然のことですから、丁度良い塩梅にはいかずとも、雪が必要なことは皆様も十分ご存じのことと思います。雪国育ち、雪と仲良くしたいものです。雪国で暮らす私たちが雪を愛さなければ、大館に移住して来て頂く方々には、まして厄介な物になるのではないでしょう。

(岩本 裕司 記)